

お陰様で日本ライフ株式会社は設立 44 年を迎えました。皆様に心より感謝申し上げます。

# さんけん

2018 No.63

平成 30 年 4 月 1 日発行

## ネットワークニュース

発行人：三健ネット会 会長 門馬 義芳 日本ライフ株式会社 社長 門馬義幸  
三健ネット会事務局 日本ライフ株式会社 〒201-0002 東京都狛江市東野川 1 丁目 3 4 番 1 4 号  
TEL03-3488-8700 FAX03-3488-9921 <http://www//nihonlife.co.jp/> Eメール:mail@nihonlife.co.jp

三健（さんけん）とは健土・健食・健民

三健ネット会は、人間の幸せは健康にありとの考えから、人みな健康で豊かであることを願い、「健康な土から健康な食物を、それを食して心身ともに健全な国民をつくる」を基本理念にしています。この理念を広く皆様にご提唱し、ご理解とご協力をいただき、普及によって健康と健全な社会、地球にやさしい環境づくりに貢献していきたいと願っております。

## イギリスと日本を比較して

### 三健ネット会事務局 門馬義幸

1 月末にイギリスに視察に行ってきた。現地のスーパーでの野菜の価格と形状を確認しておきたかったからです。野菜の価格はいずれも日本の 1/3 以下でした。人参やジャガイモなどはかなりの量が袋に入っていました。不揃いのものも多かった。日本の野菜は規格が厳格で、それ以外ははねだし（見栄えが悪かったり、規格品以外のもの）として、店頭には並びませ



ん。日本の消費者の多くは野菜の形状をそれほど気にしていないと思うのですが、売る側のお店の方がお客様のことを忖度（そんたく）しすぎているような気がします。規格品以外のものは値段を下げて売れば、消費者も農家も、そしてお店自体も利益がでるのではないのでしょうか。まさに「三方良し」（注）の精神です。

でも、イギリスでは何故そんなにも野菜の価格を安くできるのでしょうか。この価格では農家が食べていくことはできません。インターネットでイギリスの農家への補助金を調べてみると、農家収入の 95% が補助金です（Nippon Taberu Times 2017 年による）。これならばイギリスの農家は十分な収入が得られるわけです。ちなみに日本では農家への補助金が 15.6% です。



食料がなければ私たちは生きていけません。有事（戦争だけではありません）の際には食料と水がまず必要です。先進国の多くはそれに備えて、自給率を高くし、補助金という形でいざという時のために備えているのだと思います。また、イギリスの消費税（付加価値税）は 20% ですが、食料品やおむつなどの赤ちゃん用の製品、こども用衣料、文房具、本など日常必需品には消費税がかかりません。ここが日本と違うところです。世界第 3 位の経済大国の日本では貧困率が 16.1%（2012 年）から 15.6%（2015 年）へと若干下がりましたが、母子世帯では 82.7% が、生活が苦しいという結果が出ています。また、女子の単身世帯は 3 人に一人が貧困だと言われています。このような状況なのですから、イギリスに習い、生活必需品への消費税については議論をすべきではないでしょうか。今ではインターネットで多くのことを調べることで

きます。日本の常識＝世界の常識とはかぎりません。フェイクニュースには注意をしないではいけませんが、日本と諸外国を比較し、日本の現状を私達自身が考えていくこともこれからは必要だと思います。

注 「三方良し」

「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」の三つの「良し」。売り手と買い手がともに満足し、また社会貢献もできるのがよい商売であるということ。近江商人の心得をいったもの。

## 桜が咲いたのに

今年の冬は全国各地でインフルエンザが猛威をふるい、寒い日が続きました。東京では 1 月 22 日には 23 cm の積雪がありました。東京都心で積雪が 20cm 以上あったのは過去 30 年間で 1994 年と 2014 年だけだそうです。さらに、1 月 29 日には 8 日間連続の氷点下となりました。8 日間連続の氷点下は、1984 年



## 本の紹介

『最新農業技術 土壌施肥』(vol.10) 一般社団法人・農山漁村文化協会 (2018年3月10日発行 6000円+税)

特集が「作物・土壌の活性化資材」で微生物資材と肥料・土壌改良材が紹介されています。

アーゼロン・Cも多種多様な有効清浄微生物群の特殊肥料として、開発の経緯、資材の特徴・効果、使用方法、使用事例が紹介されています。(Y. O.)



全国で寒さが続き、東北、北陸では例年よりも雪が多く降りました。雪の重さに耐えきれず倒壊したハウスもかなりの数に上ります。野菜や果物は生育が遅れました。大雪で掘り出せない露地野菜もありました。野菜の価格は高止まりになり、庶民の台所を直撃しました。

2月19日の取引ですが、前の年に比べて、大根 199%、ハクサイ 224%、キャベツ 288%、レタス 143%、ネギ 134%の価格でした。

冬の間は寒さが続いていました。ところが、3月になると、急に暖かくなりました。本社のある東京では今年の桜の開花日は平年よりも9日も早い3月17日でした。1953年以来、最も早い開花日は3月16日ですが、それも2002年と2013年の2回記録しているだけです。それが20日には急に寒くなり、最高気温も8.8℃になりました(前日の19日は18℃でした)。21日にはさらに寒くなり、最高気温が6.6℃で都心でも雪が降り、多摩地区では約10cmの積雪がありました。22日からは再び暖かくなり、桜の満開日は3月24日でした。去年の満開日は4月2日、平年は4月3日です。年々、春と秋が短くなり、夏と冬が長くなっていくような気がします。(G.K.)

## 現在の福島

門馬義幸

原発事故(2011年3月11日)から7年が経過しました。廃炉作業には最低30~40年間はかかるだろうと言われているのに、忘れ去られた存在になりつつあると感じるのは私だけではないと思います。

福島県相馬市は弊社相談役の門馬義芳の生まれ故郷ですが、相馬野馬追として全国的に知られています。毎月、「広報そうま」

が送られてきます。2018年3月号(No.1012)を読むと未だに相馬市では出荷制限を受けている食品があります。こごみ、たけのこ、ふきのとう(野生)、ぜんまい、たらの芽(野生)、原木しいたけ(露地)、原木なめこ(露地)、うど(野生)です。いつになったらすべての食品を食べることができるのでしょうか。

チェルノブイリの原発事故(1986年4月26日)から30年以上経過しても、原発から半径30キロ以内は今でも立ち入り禁止です。日本で原発の事故処理が終わる日があるのでしょうか。3.11を風化させてはいけないと思います。

## 海を渡る寿司職人

先日、羽田空港で「門馬さんじゃありませんか」と声をかけられました。以前、良く通っていた寿司屋の大将です。歩きながら話しをすると、これからバンコクに行って、寿司を握ってくるとのことでした。今回は



4日間とのことでしたが、毎年、日本人の有志数人とアジア各国

に寿司を握りに行くようになったとのことでした。海外では日本食ブームで、どこに行ってもお寿司屋さんの看板を見かけるようになりました。中には「これが寿司？」と首を傾けたくなるものも多いです。本物の寿司を紹介してもらいたいと思いました。その後ろ姿は自信に溢れていました。ここのお寿司屋さんはミッシュランで一つ星を獲得してから敷居が高くなってしまいましたが、心の中で「頑張れ」と応援しました。

(門馬)

## 会員の声

### 雪かき用シャベルの盗難

まさか盗まれることはないだろうと思い、シャベルを会社の玄関近くに立てかけておきました。それが盗まれたのです。東京では1月22日には23cmの積雪がありました。弊社ではシャベルを使っての雪かきをしていました。そのシャベルを退社時に玄関近くに置いていたのですが、翌日にはなくなっていたのです。誰かが雪かき用に持っていったのでしょうか。管理がなっていないと言えば、その通りですが、ここは日本です。しかもものどかな住宅街です。まさか盗まれ

るとは思いもしませんでした。それが3月5日（月）の朝、出社すると玄関近くに置いてありました。残っていた雪も融け、シャベルが必要なくなり、処分にも困ったのでしょうか。せちがらい世の中になりました。（K.K.）

## 寒い冬にも負けなかった サニーレタス

昨年11月にプランターに種を撒いたサニーレタスがこのところ、順調に育っています。種を撒き、発芽し、1～2cm伸びたところで、急に寒くなりました。苗は成長せず、この先どうなるのだろうと思いました。氷点下になるとプランターの土も凍ってしまいました。1月23日には都心でも雪が降り、20cm以上も積りました。雪を下手に取り除かないほうがいいと思い、数日間雪はそのままです。それでも枯れる苗はなく、気温の上昇と共にゆっくりですが順調に育っていきました。3月になり、アーゼロン・Cを追肥すると成長の速度も早まりました。3月も下旬になると食べられる大きさになり、必要な分だけ、外側の葉から摘み取って使っています。

土は再生土を使っています。プランター



で使った古い土を衣装箱に入れ、小石と根を取り除きました。

アーゼロン・Cと米ぬかを同量混ぜ、それにピートモスと粉炭を加え、よくかき回しました。この再生土をもう一度、同じプランターに戻し、水を十分かけました。その2週間後に種を撒きました。このようにして古い土を使っています。連作障害が起きないのはアーゼロン・Cに含まれている微生物のおかげだと思います。（N.S.）

## ハナニラ

昨年の春ごろから、雑草取りをするとニラの香りがしました。調べると観賞用のハナニラでした。



ハナニラ  
イフェイオンまたはスプリングフラワーという名で販売されています。

抜かずにそのままにしておいたら、この春、薄紫の可憐な花が咲きました。食用にはありませんが、丈夫ということで、9月に鉢植えにして増やしたいと思います。（I.K.）

# 春です！ ガーデニング 家庭菜園

## 準備はいかが？

今年の冬は本当に寒かったですね。大雪のニュースを見るたび、雪国の方々は大変なご苦労をなさっているのだらうと思いました。でも今年の春の訪れは早いようです。

みなさん、この春は何を植え付けるかもう決められましたか？ 苗や種をご購入の前に、アーゼロン・Cで、土づくりをしましょう。土や作物に有効な微生物が増えて、花芽をたくさんつけ、より鮮やかに長く楽しむことができ、作物はおいしく栄養価の高いものになります。

アーゼロン・Cの使い方を改めてご説明させていただきます。なお、アーゼロン・Cもアーゼロンゆうきも使い方は同じなので同様にお使いください。

- アーゼロン・Cと一緒に微生物のエサとなるものを入れるとより効果的で

す。エサは  
米ぬか・堆  
肥・腐葉土  
などです。



- 使用量は1坪に1.5～2kg、5～7号鉢で10～35g、プランター650型で120gほどです。これにエサを同量か、2倍程度入れ、よくかき混ぜます。
- 何も植えていない畑では、そのまま撒きよく耕してください。鉢やプランターは土とよく混ぜ合わせてください。
- 1～2週間程度そのままにして、もう一度耕してから、植えつけや種まきをしてください。
- すでに植えられている場合は、根に当たらない所に穴を掘り、アーゼロン・C+エサを入れて、土をかぶせてください。

### 編集後記

社内でガラケーを使っているのは私一人です。確かにスマホはとても便利ですが、車内でスマホに夢中になっている人たちを見てみると、怖くなります。電話とメールしか使わないので、しばらくはガラケーを使い続けようと思います。 Y. M)

この冬は格別寒さが厳しかったので、春の訪れがとて嬉しい今日この頃です。冬眠から覚めた熊のように、時間があれば花の苗を買いたいさっている自分に歯止めがかかりません。でも、どこに植えるの？悩みと闘っている毎日です。 (Y. O)

雨の日も風の日も、毎朝決まった時間に大声で歌いながら、通る青年がいます。こぶしを駆使し、ビブラートを効かせ、なかなかの歌声です。普通なら朝からうるさいと思うのですが、近所で文句を言う方はいません。いい時の歌と思っっています(K. I)